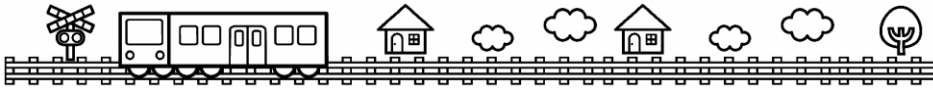


12月

尾久二だより

令和2年11月30日(月)
荒川区立尾久第二幼稚園
園長 高橋 美香



深まる団結力 尾久二幼！！

主任 種田 保子

11月は晴天が続きました。登園すると、園庭に出て思い切り体を動かして遊ぶことが習慣となっている子供たち。クラスみんなで鬼ごっこを行ったり、砂場でケーキやごちそうを作ってパーティーを開いたり、落ち葉や木の実を集める探検をしたりと毎日大賑わいです。

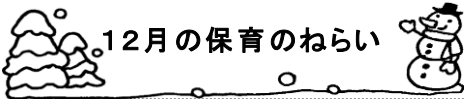
先日はPTA主催のバザー、お疲れ様でした。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため内容を大幅に縮減し、在園児保護者を対象として行いましたが、例年通り大盛況でしたね！1学期から計画し、情報交換をしながら準備を進めていたお母さんたち。次第にお母さんたち同士の関係の深まりや団結が伝わってきて、改めてPTA活動の魅力を感じました。

今、いるか組では、劇遊びの会に向けた取り組みを行っています。劇の題材が決まると、子供たちはいろいろな役を試し、自分のやりたい役を決め、劇ごっこを行いながら自然と出てくる言葉をセリフにしていきます。また、劇に必要なものを相談して作ったり、「もっとこうしたらどう？」とアイデアを出し合ったりして、少しずつ形になっていきました。学級の友達と一緒にいる中で、互いにできるようになったことに気づき合ったり、励まし合ったりする姿も見られ、関係が深まっていることも感じます。



自分たちで考え、先生や友達と対話をしながら、皆で進めていく過程には、様々な学びがあり、子供たちにとって大切な経験です。劇あそびの会を通してクラスの団結が深まることでしょう！

2学期もあと少しとなりました。保護者の皆様には、たくさんのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。新型コロナウイルスの波はなかなか収まらず、心配も多いかと思いますが、引き続き感染予防に努め、よいお年をお迎えください。



12月の保育のねらい



うさぎ組

- 遊びの中で、教師や友達の動きを見ながら、自分なりにイメージして動く楽しさを感じる
- 教師や友達と一緒に、季節の行事や遊びを楽しむ



りす組

- 友達と思いやイメージを出し合いながら、ルールのある遊びや好きな遊びを十分に楽しむ
- 季節の変化に気づき、時期に応じた生活の仕方を身に付ける



いるか組

- チームで競い合う楽しさを味わいながら、十分に体を動かして遊ぶ
- 季節の行事に親しむ

